



進路だより



都立町田の丘学園校長 三浦 昭広
進路指導部 第9号 令和7年3月3日発行

寒さの厳しかった2月も終わりに近づき、少しずつ春の温かさを感じられるようになりました。今年度は新しい校舎に全ての学部が揃いました。1つ上の学部の先輩たちの様子が分かりやすくなり、以前よりも進級のイメージが作りやすくなったのではないのでしょうか。早いもので今年度も残り一か月余り、一年間のまとめの時期に入りました。キャリアパスポートを使ってそれぞれの歩みを振り返る活動を始めています。特に、小学部6年生、中学部3年生は、新しい学部への入学に向けて準備を始める時期でもあります。

また、高等部3年生は、社会人としての第一歩を踏み出すこととなります。移行支援会議等が予定されておりますが、学校生活で身に付けた力を卒業後も十分に発揮できるように有意義なものにしていきましょう。

B部門高等部1年生インターンシップ！

～体験を終えた生徒たちの声～

今年度は1月22日から始まりました。職業の授業やクラスで一人一人が目標を考えて準備をしてきました。生徒たちは学校を離れて実習をすることに緊張している様子もありましたが、当日は教員見守りの下、事業所に馴染んで活動できています。一般事業所(企業等)に行く人は事前面接や通勤練習を通して少しずつイメージを膨らませていきました。今号では1月中にインターンシップを終えた生徒2名の感想をお送りします。

【企業】社会福祉法人東香会

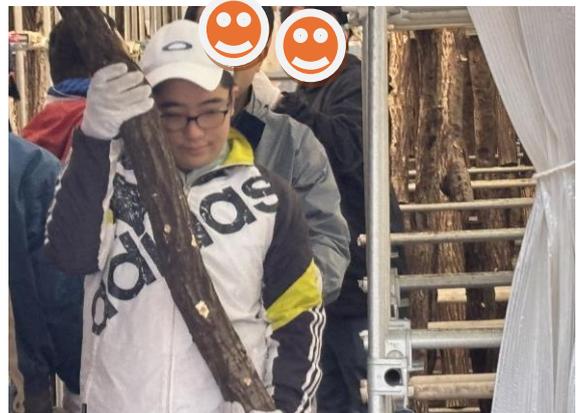
成瀬くりの家保育園



3日間、一人で通勤し遅刻や欠席をしないことを目標に取り組みました。初日は緊張したものの、園児たちと積極的に関わる中で働くことの楽しさを知り、毎日出勤することができました。同時に、働き続ける体力や生活習慣について考えるきっかけになりました。

【福祉】社会福祉法人まちだ育成会

『ころみ』



インターンシップで一日仕事をして、椎茸がどのようにでき、収穫するかを学びました。自身の安全だけではなく、周りの安全配慮、先輩方と協力することを学び、これから活動する上で大切なことを学びました。

<小中保護者進路学習会>



2月13日(木) teams を利用した進路学習会が行われました。
内部生と市内支援級の方、合わせて30名の方が参加されました。

前半は、進路指導部の小針から、町田の丘学園のAB部門それぞれの進路状況、キャリア教育の観点から本校で行われている社会貢献活動、進路選択に向けての流れや自己決定の考え方、進路先で求められる力などについての話でした。

後半は、本校卒業生の保護者から3人の方を講師としてお招きし、「生活を支える福祉サービスと成人期移行医療」、「在学中の進路選択に向けた取り組み」、「卒業後を見通した生活と相談支援の利用について」というテーマでお一人ずつ御講演をいただきました。

現在利用している生活介護事業所での過ごし方、毎日の生活に必要な入浴や移動支援、緊急時に必要になる場合を想定してショートステイを経験しておくことなど御本人や御家庭の目線で話してくださいました。また、卒業後の生活の変化に合わせ、送迎バスの到着時刻と親の就業時間をどうすり合わせていくか、小児科から成人科への移行をスムーズに進めるための方策などについてのお話もありました。「計画相談支援事業所」はそうした御家庭の困りごとの相談にのってくださること、就労支援や就労後の定着支援も含め、卒業後も安心して生活していけるよう一緒に考えていただける福祉サービスであることをわかりやすく説明してくださいました。

講演内で皆様からあらかじめいただいていた質問に答える時間もありましたが、改めて御質問や御意見等がありましたら、連絡帳などを通していただければと思います。

<B中3年インターンシップ>

中学部3年生は、10月23日(水)と12月5日(木)に高等部へ行って作業学習体験をしました。10月23日(水)は、「食品サービス班」、「環境サービス班」、「流通サービス班」の3ヶ所に分かれて、12月5日(木)は、「喫茶班」、「事務班」、「清掃班」、「製造班」、「環境班」の5ヶ所に分かれて行いました。初めての環境で緊張している生徒が多く見られましたが、高等部の先輩方が優しく対応してくれたので、落ち着いて作業に取り組むことができました。残りの中学部生活を大切に過ごし、高等部に向けての意識をさらに高めていきたいと思います。

喫茶班



事務班



清掃班



製造班



環境班



B高2年 進路学習会

2月7日（金）、B 部門高等部2年生対象に、進路学習会（卒業生のお話を聞く会）を行いました。1グループには社会福祉法人まちだ育成会 大賀藕絲館と、社会福祉法人紫苑の会 シャロームの家の方が、そして2グループには株式会社はま寿司と山村ロジスティクス株式会社からそれぞれ講師としてお越しいただき、貴重なお話しを伺うことができました。

1グループは先輩の紹介を聞いた後、各事業所の作業内容を御紹介いただき、大賀藕絲館からは機織りとモミジバフウの作業を、シャロームの家からはパン袋のシール貼りとボールペンの組み立て作業を体験させていただきました。初めての仕事だったので、最初は先輩や支援員さんに手伝ってもらいましたが、だんだんと一人で作業ができるようになり、生徒たちは自信をもてたようです。

2グループは、飲食補助・物流でのお仕事紹介に興味津々な様子で話を聞く生徒が多く、質問も時間いっぱいまで沢山飛び交いました。仕事の内容だけではなく、卒業後の生活や、進路先を決める上でのポイントなどにとても興味をもって話を聞いていました。

卒業後に頑張っている先輩方を憧れの眼差しで見つめる後輩たちに、先輩方も温かく接していただき、とても良い学習会になりました。ここで得た体験と話しをもとに、今後の学習や進路選択に生かしていただきたいと思います。

1グループの様子

それぞれの事業所の仕事を、自分で選びながら行いました。先輩や支援員さんの指示をよく聞きながら、丁寧にとりくみました。



2グループの様子

先輩方の仕事内容や取り組みの姿勢をメモに取っています。在学時のことを当時のことを知る教員から紹介があり、和やかな場面も。



令和6年度 協力企業連絡会

2月20日(木)、本校にて、令和6年度「町田の丘学園協力企業連絡会」が行われました。全部で14の企業や支援機関・事業所の方に御参加いただきました。本校の進路指導についての御理解と、企業講演、校舎見学、グループ懇談会を行いました。

企業講演では、トヨタモビリティ東京株式会社から、人事担当の方、お勤めの本校卒業生に御講演いただきました。企業と特別支援学校との連携のお話をしていただき、実際に卒業生の声を聞くことができとても良い機会となりました。

グループワークでは、障害者雇用率の段階引き上げについて各企業からの取り組みや学校との連携について話をグループ間で話をすることができました。

当日の受付や御案内、学校見学で生徒の自然な様子も見ていただくことができました。

今後とも、インターンシップを含め本校と連携を深め充実した教育活動や進路実現を行っていききたいと思います。ありがとうございました。

「区分って何ですか？」

進路専任になり数年経ちますが、保護者・教員共にずいぶん聞かれた質問です。

高3になると、進路先から「〇〇さんの区分はわかりますか？」という電話がかかってきます。これは、生活介護事業所を利用予定の方のみです。進路先の中で、生活介護だけが【介護給付】というカテゴリーの中に入っているからです。他の福祉就労先(B型・就労移行など)は、【訓練等給付】なので、尋ねられることはありません。

町田市の場合、福祉サービスを使うときにはまずは居住地の障がい者支援センターで相談します。必要な書類や手続きを教えてください。その時に【介護給付】のカテゴリーの生活介護や、居宅介護、重度訪問介護、短期入所などの利用には、『障害支援区分』の判定が必要になるのです。

『障害支援区分』は18歳以上が認定調査(福祉課が訪問し質問・観察)と主治医の意見書(福祉課から主治医に指定の様式で依頼)をもとに非該当～区分6(6が最重度)で判定されます。それによって申請できるサービスが決まります。居宅介護や短期入所は区分1から利用可能です。

障害者手帳、療育手帳の等級、度数と逆(数字が大きいほうが重度)など、わかりづらいところもありますが、この話題が出るのは、主に卒業後の進路になる福祉事業所からが多いです。在学中にやっておいて損はないのが、主治医をもつことです。20歳に申請できる障害基礎年金の書類作成でもお世話になりますので、これまで児童相談所で手帳を取得した方などは是非、主治医探しから始めることをお勧めいたします。

<是非こちらも御参考に> 町田市障がい者サービスガイドブック2024↓↓

https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/syougai_hukushi/hp-guidebook.html

町田の丘学園 進路指導部

<東京都立町田の丘学園>

【電話】042-737-0570 【FAX】042-737-0580